

平成 21 年度 委 託 費 支 出 明 細 書

1. 委託費の名称		平成 21 年度持続的な自然資源管理に係る事例調査委託業務
2. 事業の目的及び内容		
(1) 目的	<p>里地里山は国土の約 4 割を占めており、特有の生物生息環境として重要であるとともに、生態系ネットワークの形成上、食料や木材等自然資源の供給、国土保全、水源涵養、良好な景観、多様な文化の伝承等の観点からも重要な役割を担っている。また、里地里山でかつて営まれてきた自然資源の利用形態は、持続可能な手法であり、生物多様性の保全とその持続的な利用が両立する自然共生社会のモデルとなりうるものである。</p> <p>このような認識のもと、環境省では、自然資源の持続可能な管理・利用のための世界共通理念をとりまとめ、その実現のための指針などを提示し、それらに基づく取組の推進を「SATOYAMA イニシアティブ」として世界に提案していくこととしている。</p> <p>このため、国内及び世界の自然資源の持続的な管理・利用についての事例や既存の指針や取組等を収集するとともに、自然資源の持続的な管理・利用に関わる多様な関係者が対等な協力関係のもとで検討・情報交換を行うことが必要である。</p> <p>国内及びアジア諸国の自然資源の持続的な管理・管理についての事例や既存の指針や取組等を収集するとともに、自然資源の持続的な管理・利用に関わる多様な関係者が対等な協力関係のもとで検討・情報交換を行ったところであり、COP10 で SATOYAMA イニシアティブを発信していくため、二次的自然資源の持続可能な利用を推進するための国際的枠組みの創設に向けた取組、イニシアティブの推進のための国際的な対話の推進などの取組を進めていくことを目的とする。</p>	
(2) 具体的な内容	<p>本業務では、自然資源の持続可能な管理・利用に関する共通理念・指針等の検討に必要な基礎資料を得るため、有識者へのヒアリング、アジア地域以外における海外事例の収集及び現地調査を行い、過年度に行ったアジア地域における事例収集調査の成果と併せて、海外における自然資源の持続的な管理・利用に関する事例を分析・類型化し、体系的にとりまとめる。</p>	
3. 委託先の公益法人の名称		財団法人自然環境研究センター
4. 委託費支出実績額		24,990 千円 (A)
5. 委託費における管理費		
(1) 人件費	16,539 千円	
(2) 一般管理費	3,100 千円	
(3) その他の管理費		
	内 容	金 額
		千円
		千円
	合 計	0 千円
	合 計	19,639 千円
6. 外部への支出		
(1) 外部に再委託されているものに関する支出		
支出内容	支出先	金 額
		千円
		千円
	合 計	0 千円 (B)
(2) (1) 以外の支出		
支出内容	支出先	金 額
諸謝金	国内外有識者	80 千円
旅費	有識者、職員、旅行会社等	3,871 千円
印刷製本費	印刷業者	210 千円
		千円
	合 計	4,161 千円
7. その他		
	内 容	金 額
	消費税及び地方消費税	1,190 千円
		千円
	合 計	1,190 千円
8. 再委託の割合		0 % (B/A)